

## 2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ビックカメラ  
 コード番号 3048 URL <https://www.biccamera.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 一義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 安部 徹 TEL 03-3987-8785  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第1四半期の連結業績(2020年9月1日~2020年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	200,552	△7.3	3,754	△11.6	4,663	△3.1	2,112	△25.8
2020年8月期第1四半期	216,409	9.8	4,249	48.5	4,814	44.9	2,849	46.1

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 3,723百万円 (△5.1%) 2020年8月期第1四半期 3,923百万円 (148.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	12.01	12.00
2020年8月期第1四半期	16.19	16.19

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	478,291	171,726	29.0
2020年8月期	472,074	169,791	29.0

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 138,709百万円 2020年8月期 137,078百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	10.00	—	3.00	13.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	441,000	1.0	5,000	△34.8	6,000	△34.0	2,800	△42.3	15.92
通期	896,000	5.7	15,000	24.3	17,000	15.7	7,900	44.9	44.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期1Q	188,146,304 株	2020年8月期	188,146,304 株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	12,207,800 株	2020年8月期	12,211,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期1Q	175,934,811 株	2020年8月期1Q	175,932,701 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の実績	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下「本感染症」という)の影響により厳しい状況にあります。持ち直しの動きがみられます。個人消費は総じてみれば持ち直しているものの、本感染症による影響で、企業収益は大幅な減少が続いており、雇用情勢は弱い動きとなっております。

当家電小売業界における売上は、本感染症による影響が生じております。商品別にはパソコン周辺機器やゲームのほか、加湿器や空気清浄機が牽引した季節家電が好調、またテレビ等が堅調に推移いたしました。一方、この他の商品は、おしなべて低調に推移いたしました。

こうした状況下にあつて、「専門性と先進性で、より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」を目指し、お客様の購買代理人として、独自性のあるプライベートブランド商品の開発や目利きの効いた商材の調達や新規サービス・新規事業の開拓等による「商品力」の強化、接客力と商品知識を基盤にした「人の力」とお客様目線の売場づくりといった「場の力」に集約される「販売力」の強化に取り組んでおります。また、現場業務の効率化・短時間化、人材育成、組織活性化等による生産性の向上にも取り組んでおります。

本感染症による当社グループへの影響につきましては、本感染症拡大防止を重視する観点から営業時間の短縮を継続するほか、一部店舗(Air BicCameraの一部)では臨時休業を継続しております。営業にあたっては、お客様と従業員の安全確保を最優先に考え、マスク着用、丁寧な手洗い・消毒、従業員の出退勤時の検温、店内消毒、レジ・カウンター等への飛沫感染防止シート設置、ソーシャルディスタンスの確保などの対策を継続して実施しております。ビックカメラにおきましては、都心の昼間人口減少にインバウンドの激減が重なり実店舗の販売は低迷いたしました。インターネット通販事業は、販売を大きく伸ばしたものの実店舗の低迷を補うには至りませんでした。一方、都市近郊を中心に事業を行うコジマにおきましては、テレワークなどによる商圏内の昼間人口増加などを背景に販売を伸ばしました。

店舗展開におきましては、グループ会社の株式会社コジマが、2020年11月21日に「コジマ×ビックカメラ イオンタウンふじみ野店」(埼玉県ふじみ野市)を開店いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,005億52百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益は37億54百万円(前年同期比11.6%減)、経常利益は46億63百万円(前年同期比3.1%減)、税金等調整前四半期純利益は45億25百万円(前年同期比5.3%減)となりました。法人税等合計が15億17百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益が8億95百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億12百万円(前年同期比25.8%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の単一セグメントから「物品販売事業」「BSデジタル放送事業」の2区分に変更しております。当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」をご参照下さい。

(物品販売事業)

売上高は1,974億79百万円(前年同期比7.4%減)、経常利益は39億52百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

(BSデジタル放送事業)

売上高は26億69百万円(前年同期比0.0%減)、経常利益は6億80百万円(前年同期比52.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ62億16百万円増加(前連結会計年度末比1.3%増)し、4,782億91百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少127億29百万円があったものの、売掛金の増加51億15百万円、商品及び製品の増加147億42百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ42億81百万円増加(前連結会計年度末比1.4%増)し、3,065億64百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少121億60百万円があったものの、買掛金の増加179億40百万円、短期借入金の増加61億24百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億34百万円増加(前連結会計年度末比1.1%増)し、1,717億26百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当(純資産の減少)5億27百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益(純資産の増加)21億12百万円、非支配株主持分の増加(純資産の増加)2億83百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2020年10月9日公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	117,211	104,482
売掛金	40,986	46,101
商品及び製品	100,925	115,667
原材料及び貯蔵品	649	626
番組勘定	123	164
その他	14,188	14,443
貸倒引当金	△274	△267
流動資産合計	273,809	281,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,314	29,240
土地	46,983	46,983
その他(純額)	14,076	13,669
有形固定資産合計	90,374	89,893
無形固定資産	25,379	26,261
投資その他の資産		
差入保証金	41,731	41,648
その他	41,156	39,635
貸倒引当金	△376	△366
投資その他の資産合計	82,510	80,917
固定資産合計	198,265	197,072
資産合計	472,074	478,291

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,301	76,241
短期借入金	32,176	38,300
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	21,477	22,165
未払法人税等	3,143	1,486
賞与引当金	3,241	4,863
ポイント引当金	13,159	12,717
店舗閉鎖損失引当金	278	379
資産除去債務	341	430
その他	41,636	33,628
流動負債合計	173,957	190,413
固定負債		
社債	800	700
長期借入金	93,959	81,798
商品保証引当金	592	536
店舗閉鎖損失引当金	467	430
退職給付に係る負債	17,201	17,500
資産除去債務	9,285	9,256
その他	6,019	5,927
固定負債合計	128,326	116,151
負債合計	302,283	306,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,929	25,929
資本剰余金	27,140	27,142
利益剰余金	98,630	100,225
自己株式	△16,734	△16,729
株主資本合計	134,965	136,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,616	2,554
退職給付に係る調整累計額	△503	△413
その他の包括利益累計額合計	2,112	2,140
新株予約権	88	109
非支配株主持分	32,624	32,907
純資産合計	169,791	171,726
負債純資産合計	472,074	478,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	216,409	200,552
売上原価	157,203	143,732
売上総利益	59,205	56,820
販売費及び一般管理費	54,956	53,065
営業利益	4,249	3,754
営業外収益		
受取利息	16	11
受取配当金	41	2
持分法による投資利益	—	100
受取手数料	367	356
協賛金収入	30	253
その他	207	363
営業外収益合計	663	1,088
営業外費用		
支払利息	62	84
貸貸収入原価	9	67
その他	26	27
営業外費用合計	99	179
経常利益	4,814	4,663
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	36	57
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	81
特別損失合計	36	138
税金等調整前四半期純利益	4,777	4,525
法人税、住民税及び事業税	1,611	1,096
法人税等調整額	△275	421
法人税等合計	1,335	1,517
四半期純利益	3,442	3,008
非支配株主に帰属する四半期純利益	593	895
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,849	2,112

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	3,442	3,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	394	634
退職給付に係る調整額	86	80
その他の包括利益合計	481	715
四半期包括利益	3,923	3,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,336	2,837
非支配株主に係る四半期包括利益	587	886

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、株式会社WILBYを連結の範囲に含めております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、株式会社ビックカメラ楽天及び楽天ビック株式会社の2社を持分法適用の範囲に含めております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

2021年1月7日に新型コロナウイルス感染症(以下「本感染症」という)の感染拡大を受け、緊急事態宣言が1都3県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)を対象に発令されており、今後、当社グループにおいて、売上高の減少等の影響が予想されます。

本感染症について、収束時期や再拡大の可能性等を正確に予測することは困難ではありますが、外部情報等を踏まえ、少なくとも2021年8月期中は都市部の店舗を中心に売上高への影響を受けるなどの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の経営環境への影響は不確定な状況にあり、状況が変化した場合には、当社グループの財政状態及び経営成績等に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	B S デジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	213,336	2,646	215,982	426	216,409	—	216,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	24	44	0	45	△45	—
計	213,357	2,670	216,027	427	216,454	△45	216,409
セグメント利益	4,349	447	4,796	17	4,814	—	4,814

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	B S デジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	197,466	2,646	200,112	439	200,552	—	200,552
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	22	35	0	36	△36	—
計	197,479	2,669	200,148	440	200,588	△36	200,552
セグメント利益	3,952	680	4,633	30	4,663	—	4,663

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「物品販売事業」以外に重要なセグメントが無かったため、セグメント情報の記載を省略しておりましたが、「B S デジタル放送事業」について量的な重要性が増したことから、前連結会計年度より報告セグメントを「物品販売事業」及び「B S デジタル放送事業」の区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

セグメント別売上高

セグメントの名称及び品目		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	5,894	2.9	△27.9
	テレビ	11,916	6.0	8.1
	レコーダー・ビデオカメラ	3,638	1.8	△4.6
	オーディオ	3,001	1.5	△17.6
	その他	7,235	3.6	△8.9
	小計	31,686	15.8	△8.4
家庭電化商品	冷蔵庫	10,896	5.4	△3.7
	洗濯機	9,531	4.8	1.1
	調理家電	8,074	4.0	△14.2
	季節家電	15,954	8.0	28.7
	理美容家電	8,403	4.2	△17.5
	その他	12,917	6.4	△12.9
	小計	65,778	32.8	△2.7
情報通信機器 商品	パソコン本体	18,069	9.0	0.3
	パソコン周辺機器	6,977	3.5	3.0
	携帯電話	26,301	13.1	△8.3
	その他	13,621	6.8	△4.1
	小計	64,969	32.4	△4.0
その他の商品	ゲーム	11,191	5.6	11.8
	時計	2,846	1.4	△47.0
	中古パソコン等	2,270	1.1	△5.8
	スポーツ用品	2,245	1.1	△20.9
	玩具	2,608	1.3	△15.1
	メガネ・コンタクト	1,114	0.6	△31.9
	酒類・飲食物	1,399	0.7	△25.7
	医薬品・日用雑貨	2,314	1.2	△51.2
	その他	9,040	4.5	△21.4
小計	35,030	17.5	△19.4	
物品販売事業		197,466	98.5	△7.4
BSデジタル放送事業		2,646	1.3	0.0
その他の事業		439	0.2	3.1
合計		200,552	100.0	△7.3

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。